

新たなスポーツ推進計画策定の背景について

本市では、平成24年3月に策定した「大野市スポーツ推進計画」に基づき、「生涯スポーツ社会の実現」「レベルの高い競技者の育成」「生涯スポーツ及び競技スポーツと学校体育・スポーツとの連携の推進」を目指して、平成23年度から概ね10年間で実現すべき目標を設定し、その目標を達成するための施策を展開してきました。

この間、国が平成24年3月に策定した「スポーツ基本計画」の第2期計画が平成29年3月に策定され、スポーツ参画人口を拡大し、一億総スポーツ社会の実現に向けた取組が進められています。

また、平成25年7月策定の「福井県スポーツ推進計画」は、第1次計画推進期間（平成25年度から30年度まで）における課題などを踏まえ、福井しあわせ元気国体（第73回国民体育大会）、福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）の成果・レガシーを活かし、さらなるスポーツ振興やスポーツを通じた交流人口の拡大につなげるため、本年3月に新たな取組を追加して改訂されました。

さらに、令和5年春の北陸新幹線福井・敦賀開業の機会を活かして、スポーツを通じた交流人口の拡大と地域活性化を図るための推進役となるスポーツコミッション「福井県スポーツまちづくり推進機構」が本年3月に設立されています。

このような中、本市の最上位計画であり、長期的なまちづくりの方向を示す大野市総合計画は、令和3年度から令和12年度までの10年間を期間とする「第六次大野市総合計画」に移行します。本年6月に制定された第六次総合計画の基本構想において、10年後（令和12年度）の本市が目指す将来像が「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」に決まりました。この将来像の実現に向けて、各分野における基本目標を設定しており、本年度中に前期基本計画を策定し、基本目標に向けた施策に取り組むこととしています。

なお、スポーツに関しては第六次大野市総合計画の基本目標分野「健幸福祉」に位置付けられていますが、分野を同じくし、健康づくりの観点で関連のある計画「健康おおの21」が令和3年度に改定される予定になっています。

そのほか、令和3年度には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される予定であり、また県内においては、福井県を中心開催地とした全国高等学校総合体育大会が開催される予定であることから、福井国体・障スポの開催で高まった市民のスポーツへの関心をさらに高めていく好機を迎えています。

このような状況を踏まえ、スポーツを通じた市民の健康増進や青少年の心身の健全な発達、共生社会の実現など、活力ある健全な社会の形成を目指した取組を総合的かつ計画的に推進するため、新しいスポーツ推進計画を策定します。